

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模
 多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料
 老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹
 介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひ
 ら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 258通信
 R4年2月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！
 ≪利用状況案内板 (☆募集中★満員)≫
 ☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
7	3	6	5	5	5

☆ナイス・ホーム (定員 17名、現在登録者 14名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 12名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

≪2月行事予定≫
 3日 節分
 20日 避難訓練



※少しずつ外出等を行っています
 が、新型コロナウイルスの感染
 拡大予防のため、密になる行事
 は自粛しています。
 ※今後の行事予定も状況に合わせ
 て変更する可能性があります。
 ご了承下さい。

≪営業に関するお知らせ≫

・打太鼓 → 休止中
 ・コーラス → 休止中
 ・ナイス・キッズ (学童・託児)
 →令和3年度:受け入れ休止中
 ・喫茶てのひら
 →時短営業(9:00-12:30)
 ※10名までの人数制限中
 ・鍼灸てのひら治療院
 →感染拡大を鑑みて営業休止中。
 ・酸素BOX → 予約可
 詳細はお問い合わせ下さい。

3つ目の星★が届くの
 を待っています♪



てのひら名物。
 ふわふわシフォン
 ケーキ。



登録家政婦、介護スタッフ、看護師大募集♪

情報公表の調査を受けました/S・O・S

介護サービス情報公表制度は、介護サービスを利用しようとして
 いる方に対して、事業所選択の支援をすることを目的として、
 都道府県がインターネット等により公表するものです。つまり、
 24時間365日、誰でも気軽に情報を入手することができます。
 平成18年からスタートしている制度ですが…ご存じの方、みえま
 すか？情報公表制度を参考に、問い合わせ…なんて経験は
 今のところ、一度もありません。

弊社では、ナイスケア・ナイスデイ・ナイスホームの3つの事業
 所がこの制度に該当します。第3者による訪問調査を自ら希望
 し、毎年受けています。調査は義務ではありません。それでも毎
 年、費用を払ってでも、自ら希望する理由。

それは、介護保険制度に則って、事業所運営の取り組みや書
 類作成が適切に実施できているか、不足していることはないか…
 日常業務に追われ忘れてしまっていることがないか、一つ一つの
 チェックを自ら行うため、そして介護情報を得るためでもあります。

介護業界も業務改善のため、紙ではなく、電子機器を使って業
 務を行うことが多くなっているそうです。でも、弊社では、複製の
 『報告書』を未だに使っています。家族や利用者さんに”何をした
 か”という記録を訪問当日に残すためにも続けています。煩雑な業
 務も何目線で、何を残し、何を残さないのか。見極めたいものです。
 (M・T)



【受審済証】
 ナイス・ケア
 ナイス・デイ
 ナイス・ホーム



あいスタ認証★★★ 星2つ / 喫茶てのひら

ニューあいスタ標準、通称『あいスタ』も、随分と色々なお店で見かけるようになりました。“安心してくつろげる”飲食店の認証制度として創設されています。

喫茶てのひらも、あいスタ認証を受けました。現在、2つ星★★。そして、今、3つ星申請中です。
 コロナの感染対策として、当初、てのひらは閉店としていました。そして、主に施設の面会の場として使用。
 その後、介護看護の現場経験も生かし“喫茶店での必要な感染対策”を考え、営業時間を短縮、非接触での
 体温測定、店内の人数制限やビニールシートによる飛沫感染防止、窓の開放による換気など、実施してきま
 した。あいスタ認証の調査項目をみると、条件をクリアしているのではないかと…申請に至りました。

「ここまで喫茶店で感染対策しているところ少ないよ」とお客さんに教えてもらい、少しでも“安心してくつろげる場”であるならば、それはそれは、嬉しいことです。

さて、今もモーニングのみの営業です。午後からは特に使用していないという、勿体ない現実。どんな場があつたらいいだろうと想像し、本を置いて図書館みたいにしたらどうなのか、何か交流ができる場にしたらどうだろう…なんてワクワクしながら考えています。

この情勢であるからこそ、人と人の繋がりや安らぐ場。もちろん、感染対策は怠りません。(M・T)

居場所を自身で選択し、そこにどう寄り添えるのか / ナイス・ホームから愛宕の家へ

Nさんは、約1年半前にナイス・ホームに登録されました。癌の末期で積極的な治療は希望して見えませんでした。通いや訪問を中心とし、一人暮らしということもあり、いざという時は泊まりも利用できる体制を整え、関わりが始まりました。

約半年前から、体力的に通いの利用は難しくなり、訪問対応のみの関わりに見直し。合わせて、自宅での訪問診療、訪問看護も始まり、生活を見守ることになりました。

いよいよ、ベッドでの生活が長くなり、食事や水分も喉を通らなくなり、日に日に痩せていられるご本人。私達の方が不安になり、ついつい『家で大丈夫ですか？』と声をかけていました。それでも、『家に居ます。不安な時もあるけど家に居ます。』と言われ、“ご本人の意向に添う！”と、ご家族と共に覚悟を決めた時期もありました。ご家族の、「本人にとって何が良いのか分からなくなりました。本人の意向は大切にしたい、でも意識がなくなった時に私はどうしたらいいのか分からない。その時になってみないと分からない。」と言われた事が印象に残っています。

12月中旬、『愛宕の家に行きます。緩和病棟にはいきません。』と言われました。ご家族とも相談し、急遽、愛宕の家へ入居となりました。訪問診療の先生も引き続き関わってくださり、年が明けると同時に、ご家族が付き添う中、静かに息を引き取られました。2週間程の入居でした。

自宅で静かに過ごされていたNさん。愛宕の家の生活音が耳障りではないだろうか心配しましたが、『これくらいの音が丁度いいです。』とニコッと笑顔で話してくれ、愛宕の家での初めての朝、『よく眠れました。』と言われたことに、安心したことを思い出します。希望であった“なるべく最期まで自宅で過ごすこと”。ここまでできたのは、何より本人の強い意志とその意思を尊重されたご家族の支えがあつてこそ。そして、先生、訪問看護、福祉用具、自宅からの移動で、急な依頼にも迅速に対応して下さった介護タクシーの方。沢山の方々にご協力頂きました。ありがとうございました。Nさん、ご冥福をお祈りいたします。(Y・O)

毎日続けよう！ / 愛宕の家

私事ですが、最近肩こりがひどく数日前からストレッチの動画を探して、朝晩やっています。色んな所を伸ばすと気持ちよい事を実感！（今更ですが）

さて、愛宕の家の入居者さんで、デイサービスを利用してみえる方は、そこで体操や散歩などをして体を動かしておられます。毎日愛宕で過ごされる方は、なかなかその機会が少ないのが現実。もちろん、生活の中でご自分ができる事、動ける事で体を動かしたり、NHKのテレビ体操を観ながら体を動かすという事はあります。

以前、福祉用具の業者さんがベッドの点検の時、「ベッドも時々目一杯上から下まで動かしてやった方が良いでしょう。人間にもストレッチが必要なように。」と言われたことを思い出しました。まずは、愛宕の家でも少しずつ身体を伸ばすストレッチで、サビつかない体を維持していきましょう。(K・T)

茅の輪
 ぐりぐり
 無病
 息災

節分の豆まき
 赤オニ青オニは
 利用者さんたちに
 ご協力頂きました。



≪編集後記≫

まだまだ寒い毎日が続きますね。根菜類や発酵食品を積極的に摂ると、身体の中から温まるそうです。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

2月の発送部数 83部